

こちら特

2020年東京五輪に続き、25年に大阪万博（万国博覧会）を開催しようと、政府が誘致の検討を始めた。「健康・長寿」というテーマはともかく、気になるのは「東京五輪後の経済活性化策の目玉にしたい」という声だ。開催費用は2000億円前後、経済波及効果は約6兆4000億円。この数字を信じてよいのか。東京五輪の開催費用は、3兆円超に膨らむ可能性が指摘されている。安易な万博誘致は、税金の無駄遣いにつながりかねない。

（白名正和、三沢典丈）



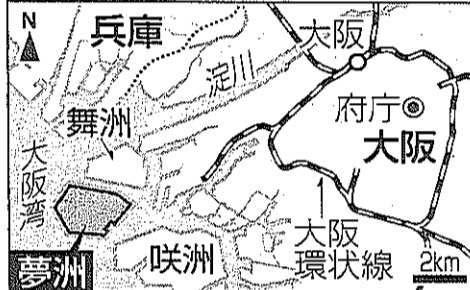
大阪府が万博開催を想定している人工島・夢洲。大阪府で

再び大阪万博

経費2000億円 膨張懸念

大阪万博の基本構想(素案)

テーマ	人類の健康・長寿への挑戦
開催日	2025年5～10月を軸
会場	大阪湾の人工島・夢洲
会場整備費	1200億～1300億円
運営費	690億～740億円
地下鉄延伸など関連事業	700億円以上



「なんで、こんなことに大事な税金を使うんか。医療とか保育とかに使ってほしい。アホちゃうかと思えます」。大阪府八尾市の公立保育所と幼稚園の統合計画に反対する「MAMOR Uママパパの会」メンバー大芝佑希さん(三毛)はそう話

でも、周りから、批判の声は上がってこない。「大阪人はお祭り好きのはずなのに、みな無関心」。どうも、盛り上がり欠けるらしい。

二五年大阪万博は、どんな内容なのか。テーマは少子高齢化問題を踏まえ、「人類の健康・長寿への挑戦」。九月二十九日に大阪府が示した基本構想の素案によると、会場は大阪市の埋め立て地「夢洲」の一部(約百畝)で、五～十月ごろの半年間開催する。

「アホちゃうか」といって、松井一郎府知事は三日の府議会で、負担額は「府と市でそれぞれざっくり二百億円」と説明した。政府と自治体、民間が三分の一ずつ負担した愛知万博を踏襲したようだが、市側は「驚いた。まだ決まっていけないのに、なぜそんな発言をするのか」と戸惑う。

運営費は六百九十億～七百四十億円程度かかり、入場料などの事業収入で賄う予定だ。だが、そうした見積もりは、まだ素案の段階にすぎない。「費用はどんどん膨らむのでは」と大芝さんは心配する。念頭にあ

市民は無関心「アホちゃうか」

「アホちゃうか」といって、松井一郎府知事は三日の府議会で、負担額は「府と市でそれぞれざっくり二百億円」と説明した。政府と自治体、民間が三分の一ずつ負担した愛知万博を踏襲したようだが、市側は「驚いた。まだ決まっていけないのに、なぜそんな発言をするのか」と戸惑う。

運営費は六百九十億～七百四十億円程度かかり、入場料などの事業収入で賄う予定だ。だが、そうした見積もりは、まだ素案の段階にすぎない。「費用はどんどん膨らむのでは」と大芝さんは心配する。念頭にあ

「アホちゃうか」といって、松井一郎府知事は三日の府議会で、負担額は「府と市でそれぞれざっくり二百億円」と説明した。政府と自治体、民間が三分の一ずつ負担した愛知万博を踏襲したようだが、市側は「驚いた。まだ決まっていけないのに、なぜそんな発言をするのか」と戸惑う。

運営費は六百九十億～七百四十億円程度かかり、入場料などの事業収入で賄う予定だ。だが、そうした見積もりは、まだ素案の段階にすぎない。「費用はどんどん膨らむのでは」と大芝さんは心配する。念頭にあ

日、松井知事らとの会合の場では、言葉を選び、慎重な姿勢を崩さなかった。

府は昨年六～七月に五百社を対象にアンケートをし、百十一社から回答を得た。参加に前向きな企業はわずか18%。「投資効果が期待できない」「自社の業種と無関係」と34%が参加に否定的だった。

費用はほかにも必要となる。会場となる夢洲は埋め立て中で、二五年開催に間に合わせるには、埋め立てを早めなければならぬ。その費用が五十億円。会場まで市営地下鉄中央線を延伸する費用が六百四十億円。道路や橋の拡幅などで四十億円。合計で七百二十億円を府市が負担するのかもしれない。

「企業として費用を出す価値があると判断できないと、やりましようとは言えないのではないか」。大阪商工会議所の尾崎裕会頭(大阪ガス会長)は九月一

こちら特報部

にじむ景気対策「夢」語れず

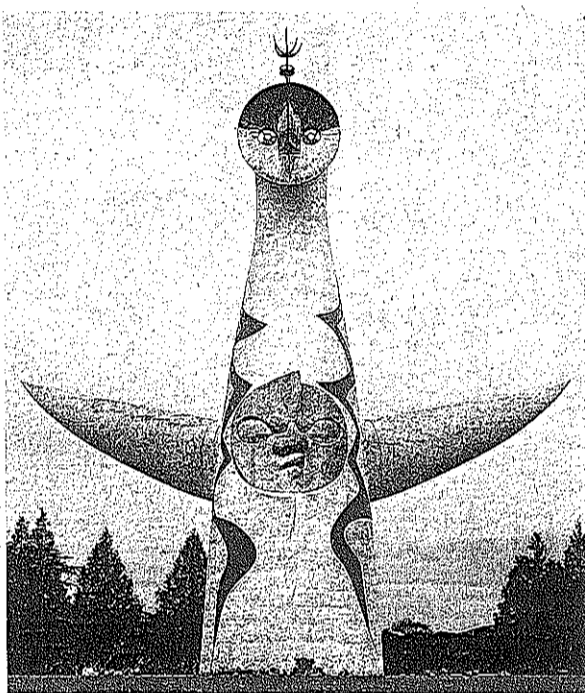
なぜ、二度目の大阪万博なのか。なぜ、テーマは「健康・長寿」なのか。

厚生労働省が二〇一三年に発表した都道府県別の平均寿命ランキングによると、大阪府は男性が四十一位、女性が四十位。「健康・長寿」なら、別の街の方がふさわしい気がする。

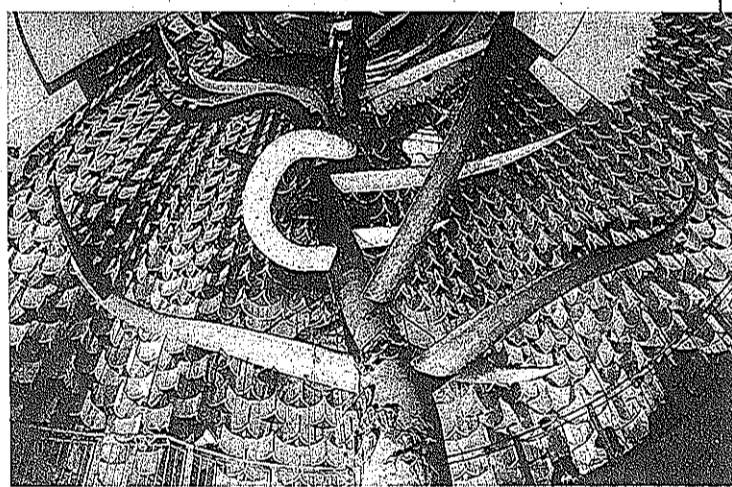
府政策企画部の担当者は「そういう指摘もあります」「一言葉を濁しつつ、大阪は付近に健康・医療関係の研究機関や製薬会社が多く立地している、健康・長寿のポテンシャルが高い」と強調した。開催費の見積もりが今後変化しないか尋ねると、「これから府議会で精査してもらう。今の段階では何とも言いえない」。

唐突な印象だが、大阪では前から誘致話が出ていた。都構想の住民投票を前に、大阪維新の会が一四年に発表したマニフェストに明記されている。だが、「政治家・橋下徹に成果なし。」の著者で、帝塚山学院大の薬師院仁志教授(社会学)は「大阪城のイルミネーションや、繁華街のF1マシン走行など

「健康・長寿」テーマ 平均寿命下位なのに…



①万博記念公園にある太陽の塔 ②太陽の塔内のオブジェ「生命の樹」(魚眼レンズ使用) ③大阪府吹田市で



維新は目立つことしかやらない。狙いは夢洲のカジノ建設だろう」と指摘する。確かに、マニフェストにはカジノも記されている。「万博を開くのなら、文化の育成が大事だが、橋下氏が知事になったころから、予算は大幅に削られた」と憤る。関西経済同友会の芸術・文化委員会の調査によると、一四年度の府の文化関連支出額は府民一人当たり七九・六円。都道府県別では四十六位で、全国平均の六百円を大幅に下回る。

テーマの「健康・長寿」の本気度もあやしい。府が素案を発表した日にあった記者会見で、菅義偉官房長官は「地域経済の起爆剤になる」と語った。やはり、主眼は景気なのか。ちなみに、愛知万博の収支は百二十九億円の黒字で、愛知万博協会などによると、経済効果は関連の建設費などで二兆八千億円。中部空港や道路整備などの公共事業を含めると、七兆七千億円に達し、中部地方の消費は上向き、愛知県の有効求人倍率は上昇した。

マイナスイ面もある。会場アクセスのために整備した磁気浮上式システム「リニモ(東部丘陵線)」の利用は低迷する。〇九年度から単年度収支は黒字に転換し

大事な地元文化 関連予算は大幅減額

された「太陽の塔」は大阪の大きな遺産だ。一八年から一般公開の予定で工事に入る。府が先月、工事前の内覧希望者を募ったところ、五百人の定員に約八万人の応募が殺到した。愛知万博で会場演出総合プロデュースを担当した造園家で東京都市大学の浦井史郎特別教授は「いま、世界の大都市はロンドン、パリ、ニューヨークなどとの競争に勝つことが求められている。後れを取った大阪が現状を打開しようと、万博誘致に傾くのは理解できなくもない」と話す。

開催費については、「東京五輪は『三兆円』が独り歩きしているが、将来の都市インフラのため、やむを得ないものもあるかもしれない。大阪万博の開催経費について情報公開を徹底し、市民の理解を得ることが大切だろう」と話した。

エッセイ

一九七〇年の大阪万博では、「月の石」と並んで人気だったのが、外国人からサインをもらうことだった。当時、海外旅行は夢の話で、初めて出会う外国人に子どもたちは心を躍らせた。二度目の大阪万博では、そんな楽しみを提供できるのだろうか。誘致のライバルはパリだという。(文)

2016.10.8

話題の発掘

劇20作セット 2,980円(税別) 送料無料

下のハガキを切り取り、使用済ハガキか同等の厚紙に全面のリ付けて、お近くのポストへご投函ください。*FAXにもこの用紙をご利用ください。

郵便はがき

荒治 戦い 胸を 公に 舞台 の数々